

平成28年度（2016年度）各部局戦略計画（重点取り組み）

部局名： 学校教育部

部局長名： 西澤 健司

1 部局の取組方針

（平成28年度の方針を簡潔に記載すること。）

○生涯にわたる人格形成の基礎である幼児教育をはじめとして、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などをバランスよく育み、生きる力を育成します。  
 ○保幼小中連携教育の推進により、子どもの育ちと学びをつなぐ教育を進めるとともに、地域や保護者などと協力した宝塚の教育を確立します。  
 ○いじめ・体罰問題をはじめとした学校課題の解決に向け、生徒指導体制や学校支援体制の強化を図り、子どもたちが安心して学ぶ環境を作ります。

2 後期基本計画に掲げる7つの重点目標

<計画の推進に向けて>

- ① 市民と行政の協働による「新しい公共」の領域の拡充
- ② 行政マネジメントシステムの機能強化と効果的運用

<施策展開において>

- ③ まちの個性を生かし、高めていくまちづくり（宝塚ブランドの強化）
- ④ 子どもたちの成長を地域全体で支えるまちづくり
- ⑤ すべての市民が、安心を実感できるまちづくり
- ⑥ 環境の保全と、循環型社会の構築に向けたまちづくり
- ⑦ 超高齢社会に対応したまちづくり

3 宝塚市マネジメント方針2016をふまえた平成28年度の施策・事業展開

（宝塚市マネジメント方針2016をふまえた各部局における平成28年度の施策・事業展開の概要、成果目標等を記入すること。重点化の内容・手法等も記載すること。項目はなるべく絞ること。）

No.	取り組み事項	概要	成果目標	重点目標との関係
(1)	子どもを元気にします	①児童生徒による携帯電話、スマートフォン、インターネット利用に関するルールづくりを進めます。 ②児童生徒の主体的な「いじめ撲滅」活動を推進します。	○規範意識の醸成 ○いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応	④
		①教育相談員や子ども支援サポーター（別室登校指導員）の拡充により、教育相談体制づくり及び教室に入りづらい子どもや不登校の子どもの居場所づくりを進めます。 ②日本語サポーターやスクールサポーター等の活用により、支援を必要とする園児児童生徒の自己実現をめざします。	○安定した居場所の確保  ○日本語が不自由な園児児童生徒、保護者への支援	④
		①保護者向け就学支援ガイドや支援方法についての手引書を作成し活用することで、一貫した特別支援教育の体制づくりを進めます。 ②学力調査の結果をふまえた「家庭学習の手引き」を全保護者に配布し、学力の定着に向けて家庭と連携します。	○インクルーシブ教育の推進  ○学習習慣の定着	④
		①部活動外部指導者の配置や部活動の各種大会参加費を補助することで、部活動を活性化します。 ②サイエンスサポーターを全小学校に配置し、児童生徒の理科に対する興味・関心を高めます。	○運動能力の向上  ○部活動への意欲的な参加 ○興味・関心の喚起 ○安全の確保 ○学習意欲の向上	④

		①平田オリザ氏による自己表現力向上ワークショップを実施し、児童生徒の自己有用感を高めます。	○表現力の向上 ○自尊感情の醸成	④
		①電子黒板等のICT機器を活用した楽しい授業づくりを進めます。 ②商工会議所の支援を受けた小学生の歌劇鑑賞を実施し、児童のふるさと意識を高めます。	○学習意欲の向上 ○芸術文化への理解	④
(2)	教職員を元気にします	①授業力向上のための「パワーアップナビ」を全職員に配布し、分かる授業づくりを進めます。 ②ICT機器を活用した授業実践事例集を作成し、楽しい授業づくりを進めます。 ③体力向上プログラムを活用して、運動好きな子どもを育成する実践研究を進めます。 ④授業力向上指導員を派遣し、優れた教育実践を受け継ぐ質の高い教員の育成をめざします。	○教員の授業力向上  ○若手教員の育成	④
		①校務支援システムの活用推進により、教職員が子どもと向き合う時間の確保と業務の効率化を推進します。 ②教員用PCの更新により、教職員個々のスキルアップを図ります。	○業務改善  ○教職員の資質向上	④
		①英語の教科化を見すえ、小学校教員を対象とした外国語活動の研修を充実させます。 ②英語及び外国語活動担当者会を小中合同で開催し、教員の交流と連携を進めます。	○教職員の資質向上 ○協働による事業推進	④
		①キャリア教育全体計画を作成し、推進リーフレットの作成・配布を行い、キャリア形成の支援について理解を深めます。 ②キャリア教育担当者の小中合同担当者会・研修会・実践交流会を開催し、キャリア教育を推進します。	○キャリア教育の充実  ○協働による事業推進	④
		①障害者差別解消法の制定に伴う「合理的配慮」について、教職員対象の研修会を開催し、特別支援教育についての理解を深めます。 ②ライオンズクラブの支援を受けたライフスキルアップワークショップを継続実施し、児童生徒理解の力を高めます。 ③携帯電話・スマートフォン・インターネットに関する研修会を開催し、危機管理意識を高めます。	○特別支援教育の充実  ○教職員の資質向上	④
(3)	学校園を元気にします	①スクールソーシャルワーカーの学校配置により、校内支援体制を強化します。	○安心して通える学校づくり	④
		①公立幼稚園での3年保育の実施や適正配置について計画的に取り組めます。 ②幼児教育センターを核として、公私間の職員の資質向上を図るための研修や情報交換など、さらに連携を進め、就学前教育の充実を図ります。 ③保幼小の接続カリキュラムを周知し、活用を促します。また、モデル校園の実践を他校園に広め、保幼小中の指導の連携を図ります。 ④中学校区ごとにめざす子ども像を明確にすることにより、子どもの育ちと学びをつなぐ教育を実践します。	○就学前教育の充実 ○連携教育の充実  ○地域ぐるみの子育て	④
		①学校図書館司書を拡充配置し、児童生徒の読書への関心をさらに高めます。 ②朝の読書活動を推進し、「読書のまち宝塚」をアピールします。	○読書環境の充実  ○「読書のまち宝塚」の推進	④

	①家庭や地域と連携した地域防災訓練を実施し、地域の防災センターとしての役割を果たします。 ②「宝塚市通学路交通安全プログラム」を実行することで、通学路の安全確保を図ります。 ③たからづか寺子屋事業を拡充し、地域とのきずなを深めます。 ④学校園や教育委員会から積極的な情報発信を行い、家庭や地域に信頼される学校園をめざします。	○学校・家庭・地域の連携  ○地域に開かれた学校づくり ○学校評価の活性化	① ④
--	---	--	--------

#### 4 実施計画事業、その他の新規・拡充事業（予定）

（新規・拡充事業については、事業の規模や事業費の額に関わらず挙げること。）

事業名		上記3との関係
(1)	教育相談事業	1
(2)	子ども支援サポーター配置事業	1
(3)	学力向上推進事業	1・2
(4)	教育国際化推進事業	3
(5)	学校図書館教育推進事業	3
(6)	部活動推進事業	1
(7)	スクールネット活用事業	2
(8)	研究・研修事業	2
(9)	生徒指導支援事業	1
(10)	スクールソーシャルワーカー配置事業	3
(11)	保幼小中教育連携推進事業	1
(12)	ICT活用授業推進事業	2
(13)	学校園安全推進事業	3

#### 5 行財政改革の取り組み

※行財政運営に関する重点取組項目（平成28年度～）及び行財政運営アクションプラン（平成23～27年度）に基づく継続した取り組み等について、事務事業レベルで具体的に記入すること。

行財政運営アクションプラン				重点取組項目		具体取組項目名 内容（事業の縮小、実施手法の改善等）	成果 （効果額等） （単位：千円）
目指す方向性	推進項目	取組項目	No.	表番号	No.		
2	(4)	③	1			学校版EMSの取組による経費削減 節電や紙使用量の削減に従来から実施していることに加え、生活や社会科、総合的な学習の時間等において、環境教育を推進する。	平成22年度と比べ、電気使用量等の減少
2	(4)	②	1			ICT活用による校務の効率化 校務支援システムの活用推進により、教職員が子どもと向き合う時間の確保と業務の効率化を推進する。	子どもと向き合う時間の確保と勤務時間の適正化